



令和4年

1
2022

No.408

けねべつ

JA広報





謹 賀 新 年

計根別農業協同組合

信用 金融 担当 共済 部長	理事 兼務 参事	監事 (頁外)	監事	代表 監事	理事	理事	理事	理事	理事	副 組合 長	代表 理事 組合 長
職 員	中 瀬	長 谷 川	本 田	安 斎	美 馬	鈴 木	漆 原	助 口	須 崎	石 毛	北 村
一 康		希	宏	直 俊							
同 夫	満	美	勉	一	優	良	之	明	智	剛	篤



年頭ご挨拶



年頭のごあいさつ

代表理事組合長 北村 篤

新年明けましておめでとうございます。
組合員の皆様には、ご健勝で令和4年の輝かしい新春を迎えられたことと思います。心からお慶び申し上げます。また日頃より農協の事業運営に対し、特段のご理解を頂くことに、改めて感謝とお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、前年から引き続き新型コロナウイルス感染症拡大により一年の大半が緊急事態宣言やまん延防止措置等の対策期間となるなど、前年にも増して人流の抑制・集会等の自粛が求められるスタートとなりました。農協事業に於きましても各種会議やイベントの開催は非を理事会等で絶えず協議しながらの事業運営となり、また各組織体及び各地区での諸事業の中止や変更等も余儀なくされるなど、ストレスの溜まる1年であったと考えます。さらに対面でのコミュニケーションの重要性を再認識する事となりました。特に農協通常総会は前年に引き続き書面議決を基本とした開催とせざるを得なかったことは、大変心苦しく思っています。この点でも組合員皆様のご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

生乳生産では令和3年度の全道生産目標数量を102.7%としてスタートしました。当農協も生乳生産量9万トンを昨年度達成し更なる拡大を目指すべく、各種生産対策を行ってきたところです。また昨年の粗飼料確保に於いては、道内他地域で干ばつの影響を大きく受けたところもありましたが、当地域ではその影響もなく、概ね良好な天候のもと質・量ともに満足のいく粗飼料の確保が出来たと思います。このことは当地域の生乳生産基盤の確保にとつては好条件です。生産者皆様の生産努力や規模拡大等と相まって本年度の累計前年対比では4%を超える生乳出荷実績となっています。

しかし引き続き続くコロナ過での牛乳・乳製品需要の低迷、さらには府県の生乳生産が夏場の猛暑予想から一転、高温の影響をあまり受けず生産が順調に推移したことから北海道からの移出乳が大幅に減少し、加工乳製品の更なる在庫積み増しを招くこととなりました。また道内の酪農主産地での生乳生産も順調なことから10月から年末年始にかけて、また3、4月の不需要期に処理不可能乳の発生が懸念される状況となりました。このことは全国的な問題として喫緊の対策を求められることとなり、当農協では10月の説明会及び11月の

懇談会の折に、生産抑制についてのご理解とご協力を生産者皆様に求めることとなりました。また「ミルクホクレン」の対策にプラスして農協独自対策として助成も行ったところです。生乳廃棄という事態は何としても避けるべく指定団体の調整機能発揮と、北海道のみならず全国一丸となった取組を行ってまいります。

酪農をとりまく情勢では、生産に不可欠な配合飼料及び灯油をはじめとする燃料価格の高騰、さらには生産諸資材の値上げによる経営費の増加と、個体販売価格の下落による経営収支悪化が懸念されるところです。令和4年度に向けての「加工乳限度数量」や「集送乳調整金を含む補給金単価」は昨年と同内容にて決定いたしました。しかしながら、私も全道酪対の役員として関係機関と協力し生産抑制下であつても将来に希望の持てる諸対策の設定に向け努力いたします。

令和4年度の北海道における生産目標数量は令和3年目標数量の101%となり、当農協の目標数量は91,034トンプラスαが決まっています。プラス部分に当たる新規就農、規模拡大等の配分枠は不透明ですが、現生産者の皆様には令和3年戸別目標数量の現状維持が求められています。令和4年営農計画の樹立が終わり、計画乳量の集計及び各戸の生産動向を

勘案して、1月中旬には農協としての新たな生産抑制対策を提示いたしますので、その折に改めてご意見を伺いたいと思います。

農協事業総体では生乳取扱量の増加もあり前年並みに推移しています。また昨年2月にリニューアルした「Aマート」につきましても、僅かですが改善の兆しが見えてきました。これもひとえに組合員皆様が農協事業へ結集して頂いた成果であり、厚くお礼申し上げます。

令和4年は「凌ぐ年」と考えます。15年ぶりとなる本格的な生産調整（抑制）、諸生産資材の高騰、需要減退により積み上がった乳製品の在庫、感染者は減少したものの新たな変異株の発生により未だ終息が見通せないコロナ感染等々、今年1年を何とか凌ぐことが出来れば、きつと明るい兆しが見えてくると信じています。そのために役職員一丸となって組合員皆様と地域のために取組む所存です。ので、あらためてご理解ご協力を重ねてお願い致します。

結びになりますが、本年が皆様ご家族共々ご健勝で、皆様と地域そして農協が一步前進できる年となることをご祈念し、新年のご挨拶いたします。



年頭ご挨拶



新年のごあいさつ

参 事 中 瀬 満

皆様にはお健やかに輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げますとともに、この新しい一年がご家族とも健康で健やかな年となりますようお祈り申し上げます。

昨年の年末恒例の今年の漢字一文字は、新型コロナウイルスで東京オリンピックが無事開催され、金メダルラッシュに沸いた事やこれからの未来が輝くようにと願いを込めて「金」の文字が多数、寄せられました。

東京2020オリンピックでのメダルは58個獲得して日本勢の大躍進で大会が終了しました。柔道男子では史上最多となる5個の金メダルにより柔道日本の復活を成し遂げ、ソフトボールでは13年前の北京大会から3大会ぶりに復活し、日本はその時以来となる金メダル連覇を成し遂げました。オリンピックでの日本選手の活躍は本人の努力の

みならず、選手を支える監督やコーチなどのスタッフ支援が大ききく、チームジャパンとしてメダルを目指した結果で、国民の一人として感動を受けました。

令和2年度の当JAの生乳生産も計根別農協始まって以来初の9万トンを突破し、令和3年度から新たな中長期3ヶ年計画を策定してスタートを致しました。特に担い手が多様な経営方針を実現するための所得確保対策として駄牛早期更新による経営改善対策事業に取組みJA管内経産牛頭数1万頭を目指した結果、令和3年11月末生乳生産は前年比104%を超える状態で推移しているものの、コロナによる外食産業の停滞やインバウンド需要の減退により生乳需給緩和は厳しさを増して令和4年度の生乳増産抑制を全道酪対の運動として取り組まねばならぬ事態となりました。

昨年末には新型コロナウイルス感染症は減少傾向にあり、どうみん割などの需要喚起対策が行われているものの、新たにオミクロン株の発生による第6波への懸念から生乳需給環境は依然と好転せず、乳製品の過剰在庫問題の解決には至っておりません。また、昨年末には生乳処理不可能な状態が予測され、国としてNEW（乳）プラスワンプロジェクトの立ち上げやホクレンのCMでモォーニングルーティーンプロジェクトの発信など全国的に消費喚起対策を講じることにも感謝するとともに、生産者やJA関係者など、より一層の消費拡大に向けた取組みが喫緊の課題です。自らの乳製品購入活動や自らの媒体（SNSなど）を駆使して乳製品の需要拡大に努めて酪農産業の発展に地域全体で取り組んで参りましょう。

令和4年度の生乳生産は令和3年度の目標数量100%が基本となるため、計画生産を体験したことのない新規就農者や若手経営者などは戸惑いもありますが、当けねべつ地域の生乳生産基盤を棄損させない事を基本に酪農家戸々が一致団結して行動する1年となるためにJAと組合員の対話活動を活発に行い、「チームけねべつ」「チームホクレン」の一員として、この難局を乗り越えていきましょう。

結びに、新しい年を迎えるに当たって厳しい酪農環境のなか、今年も良い年であったと喜び合える1年であると願いつつ、皆様にとって病気や事故・災害のないすこやかな年となりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭ご挨拶



令和4年の年頭に当たり

JA けねべつ 青年部 部長 株田 悠介

新年あけましておめでとうございませう。

組合員の皆様をはじめ、農協、各関係機関の皆様におかれましては、旧年中より青年部の活動や取り組みに対して、多大なるご理解、ご協力を賜り、青年部を代表して心より感謝申し上げます。

また、青年部員の皆様におかれましても、日頃より積極的かつ意欲的な青年部活動への参加、運営していただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

昨年4月から西塚部長より青年部長という大役を引き継ぎ、令和3年度の青年部活動を行ってまいりました。

昨年の青年部活動といたしま

しては、一昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止により多くの活動やイベントを自粛する事となりました。第70回通常総会の書面議決による開催、各種イベントのジャンボハンバークの中止等、多くの活動を変更や中止して行っていました。また、根室地区青年部協議会や全道青年部協議会の活動も多くが中止や延期、リモート開催となりました。

このような状況においても、モアン山の牛文字の草刈りや、ロールバックメッセージの作成などの少人数での活動は、積極的に進めてまいりました。また、毎年行っている標津川、当幌川周辺のゴミ拾い活動については、

例年よりも清掃箇所を増やし、環境保全に努めることが出来ました。

青年部の大きな活動でもありませんが、昨年より引き続き、部員全員で行っていた箱詰めと発送を取り止める事となりましたが、多くの方にご注文して頂き感謝しております。

また、現在の酪農情勢ですが、加工乳製品在庫の積み上がり問題となっており、青年部といたしましては、消費拡大活動により一層力を入れていかねばいけないと感じております。

昨年を振り返りますと、事業や活動の中止により各部員と顔

を合わせる事が少なく、寂しい思いがしました。やはり部員の多くで活動をしたいという想いを強く感じました。新型コロナウイルスが一刻も早く終息し、部員皆さんと活発な活動をしたいと願うばかりです。

結びとなりますが、本年も青年部に対しましてご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。また皆様にとって良い年になりますことをお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。





年頭ご挨拶



新年挨拶

J A けねべつ女性部 部長 相澤 舞子

新年おめでとうございます。

組合員の皆様には、令和四年の新春を、健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

各関係機関の皆様には、旧年中より女性部の活動に対し、多大なるご理解、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は、コロナに振り回された一年でしたが、その中でも『東京オリンピック』が開催され、多くの日本人が活躍し、賛否両論ありましたが、経済効果には影響を与えたのではないのでしょうか。

長引く緊急事態宣言の中、少しずつ日常を取り戻す為に、試行錯誤しながら歩んだ一年でした。一時は医療崩壊の危機にな

り、根室管内でも感染者が急増

し、不安の日々でしたが、ワク

チン接種も進み、全国的に感染者が激減したので、ホッとしま

した。しかし、十二月に入りま

た新たな変異種が確認され、なかなかコロナ収束とはいきませ

んが、引き続き感染対策をして、

少しでも前に進んで行きたいと

思っています。

さて、女性部では、昨年もコ

ロナの影響で活動がほとんど出

来ていません。その中でお中元

事業は行いう事が出来ました。昨

年の女性部オリジナルセットに

は、計根別地域で製造している、

牛乳豆腐『みるふちゃん』を入

れました。コロナ禍で乳製品の

消費が落ち込む中で、少しでも

北海道（根室地区）の乳製品を

アピール出来たと思っています。

また、A マーケットにご協力いた

だき、『焼肉セット』と『べつ

かいのアイスクリーム屋さん詰

め合わせ』の取りまとめを行

いました。どちらも女性部からの

助成で、お得に購入していただ

きました。

また、道女性協では二年振り

に『家の光大会』がウェブ開催

されました。根室地区は道東あ

さひの会議室から二十名が参加

しました。

今年はウェブ開催なので、例

年とは違う形での進行でした。

『家の光記事活用体験発表』に

フリーアナウンサー佐藤麻美さ

んの講演など、短い時間でし

が、充実した内容でした。

初めてのウェブ開催でしたが、

各地区の女性部員の顔も見

が出来て、多少のトラブルも笑

いになりました。来年度は集

まって開催出来る事を楽しみに

閉会しました。

最後になりましたが、令和四

年が皆様にとって、実り多き一

年となりますようお祈り申し上

げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

舞子





年頭ご挨拶



令和4年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 代表理事会長

小野寺 俊 幸

新年あけましておめでとうございませう。

組合員並びに役職員の皆様には、コロナ禍にあってもその苦境にも負けず、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに對しても、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の本道農業につきまして、春先は天候に恵まれ順調に推移したものの、7月～8月にかけての長期間の猛暑や少雨による干ばつ、また、9月に発生した雹や大雨により、一部の地域や作物によっては、生育が大

変、心配されたものの、おおむね平年作を確保することができました。

しかしながら、一昨年から引き続き、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、今までの日常とは大きく変化した1年でありました。農業分野においても例外ではなく各種イベントの自粛、外食の需要減少等の影響により、各作物の消費に大きな影響が出ています。

今後は作物ごとの実態を踏まえた、国産・道産農畜産物の需要喚起・消費拡大を図るとともに、外国人技能実習生が入国にも影響があり、農作業の人材確保にも大きな課題となっておりますので、北海道、全国連とも連携し、JAグループ北海道と

してしっかりとその対応を図ってまいります。

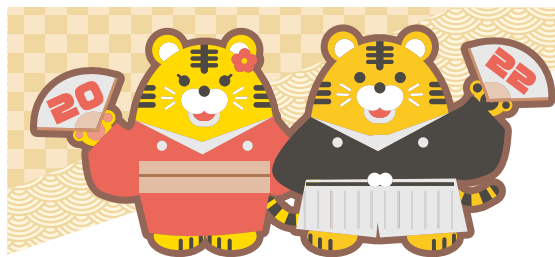
昨年は第30回のJA北海道大会を開催し、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」という将来ビジョンが決議されました。

コロナ禍やデジタル化への対応、SDGsへの貢献、信用・共済事業をはじめとしたJA経営を取り巻く事業環境への対応など、北海道農業、JAグループ北海道を取り巻く環境が急激に変化しており、このような環境に適応していくには、改めて、協同組合運動の

原点である「対話」を通じて、実践方策を設定し、実践と改善

をくり返すことで、変化の波をJA運営に取り込んでいくことが必要であり、組合員・役職員が一人となってしっかりと取り組んでいくことが重要となります。

結びになりますが、本年は壬寅年です。十干の「壬」は陽気を下に宿すという意味を持っており、生命の誕生を宿す意味を表します。一方、十二支の「寅」にも壬と同様で、草花が伸びようとする状態を表しています。この謂われにあやかり、本年が豊穰の年となること、新型コロナウイルスの1日も早い終息と皆様のご健勝をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶いたします。



2022 寅年

組合員さんと職員のご家族の年男・年女の方に今年の抱負などを語っていただきました。



(新栄地区)
青木 達也さん
ネヴァーギブアップ



(中計根別地区)
松永 旺佑さん(慎一さん)
部活で全道へ行くぞ!!



(若竹地区)
柵木 貞男さん
元気で長生きデス



(北本別地区)
相澤 舞子さん
無病息災



(北本別地区)
相澤 親さん
一年を元気に楽しく暮らす



(北本別地区)
相澤 せつさん



(大麻地区)
齊藤コユルさん
健康に気を付けて
頑張ります。



(中本別地区)
蛭田久仁夫さん
コロナに負けずに一日
一日を大切に活きたい。



(常磐地区)
佐藤あゆ奈さん(雄太さん)
コロナに負けないように
健康な体づくり! 🐯



(酪進地区)
穴戸ユキ子さん
これからも体に気を付けて
生きていきたいと思います。



(旭新養老牛地区)

中村 穰太朗さん(正博さん)
バドミントンの大会で
1回でも多く勝ちたい!



(旭新養老牛地区)

助口 明さん
一日も早いコロナ終息



(旭新養老牛地区)

助口 たみさん
健康にすごしたいです。



(南養老牛地区)

田中 祥太さん
健康第一で頑張ります。



(上養老牛地区)

中澤 伊織さん(憲一さん)
搾乳ができるように
なりたいです。



(金融共済部 金融課)

玉置 博斗さん(後列左)
風呂ゴルファー目指します!?(笑)

(営農部 営農支援課)

中條 匡晃さん(後列右)
日々勉強です!

(販売部 生乳販売課)

杉本 夏美さん(前列左)
痩せます

(購買部 資材生活課)

角田川裕太さん(前列中央)
より良い一年にします

(購買部 資材生活課)

根岸 里菜さん(前列右)
貯金する!



○平成3年度で四年目となる畜舎内外環境改善衛生調査が行われました。

この年は226戸を対象に調査が行われ、優良事例や40の点検項目について今後の改善内容が写真や表の通りに掲載されていました。

生乳の品質価値を高めるためにも、とても参考になる調査結果となっておりますので、ぜひ、目を通してみてください！

昔を振り返って

発行日：平成4年1月1日（1月号）

生産現場のイメージを変え生乳の品質価値を高めよう。



上記写真は、個人からグループ毎に景観を生かした環境作りを実施している一例です。〔新得町〕

平成三年度

畜舎内外環境改善衛生調査結果

十一月七・八日に実施した環境調査結果が次のようにまとまった。

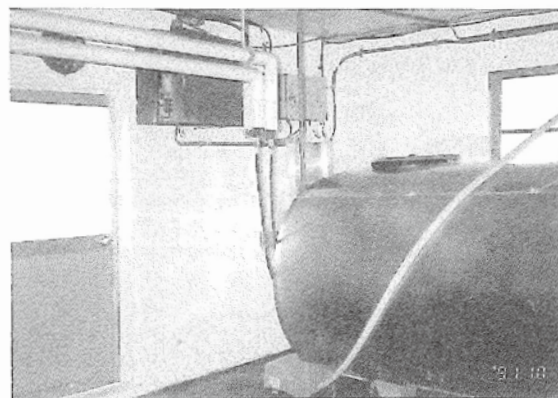
本調査は今年で四年目が過ぎ粗大ゴミ一掃運動や地区内、独自で環境調査が行われるなど搾乳を取り巻く環境衛生改善の成果が顕著に表われた結果となった。

今年の調査特徴として一般環境を簡略化し搾乳器具の保守、衛生管理を重点に調査を行った。

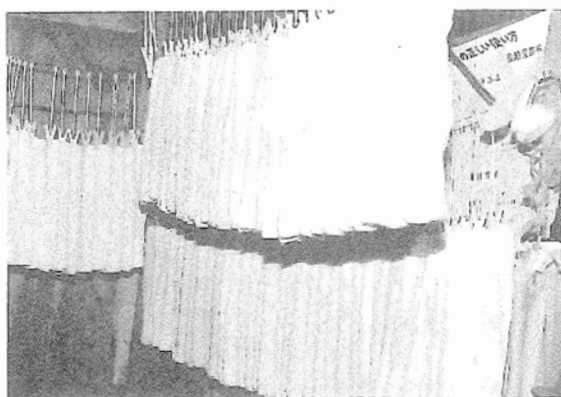
特に改善を要する事としてライナーゴムの定期交換は行われていてもバルセータートチューブの老化やヒビ割れが目立つことや、バケットミルカーの管理が非常に悪く使用目的を考えてみる必要がある。又、畜舎前に消毒容器の設置が少ない事も防疫上、改善が急がれている。

環境改善には時間を要するが、生産に直接影響する部分を優先事項とし地域ぐるみで活動の輪を広げ積極的に取り組んでいきたい。以上が優良事例と項目毎の調査結果、現状と今後の改善内容の概要である。

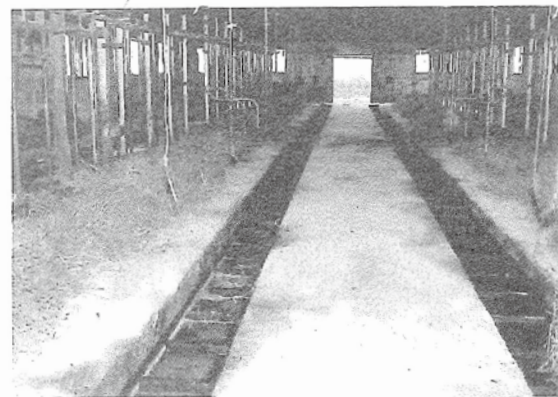
以下、優良事例と点検結果を掲載したので参考にされたい。



清潔な処理室



一頭一布清拭用タオル



畜舎内外及搾乳器具衛生管理調査結果

計根別農業協同組合 1991 11.7~8 調査戸数 226

区分	No	点検項目	Aの比率	調査結果にもとづく今後の改善内容
畜舎内	1	牛舎の周囲が整理整頓され環境美化に努めている	23.0	畜舎周辺の環境整備は周辺を少々遠目から見ても使用しない農機具や雑品類、サイレージ作りに使用したビニールやフィルム類など以外にあるものです自らの粗大ゴミを一度確認してまいりましょう。
	2	糞尿処理の管理状態	38.8	畜舎前の消毒容器の設置戸数は13戸と極めて少ないですが防疫上からは自己防衛のために設置しましょう。
	3	舎内入口に消毒用バッドがある	6.2	生活環境の基本となる水と空気は乳牛も同様で畜舎の換気や飼槽の損傷、ウオーターカッ周辺汚れから発生する匂い等全てで換気量が低下し能力を上げてまいります。
	4	舎内は通気、換気が良、アンモニア等の臭気がない	32.4	バッドの設置の簡便で安価な方法は汚泥部分を完全に取り除き地元の資材ではクロボタを45~50cm以上入れてよく鎮圧を毎月2~3回の清掃で管理が可能です。
畜舎外	5	舎内の整理、清掃が適切に行われ衛生的によい	38.2	生乳処理室は生乳という商品を保存する大切な場所です。この事を常に意識し、整理整頓をする、清掃する、明るくするなど衛生感の強化が大切です。
	6	飼槽の保守管理、ウオーターカッの衛生管理がよい	32.1	生乳は大変匂いに敏感に反応する場合があるので畜舎との遮断、室内の通気、換気に現状の施設でちよとした工夫を行ってみましょう。また、通気の為に室内入口を開放状態のままでは小動物が進入しますので窓に網戸や換気扇、又は開放する場合最低、バルククーラーに白い布を覆うなど食品という意識で気配りをしてください。
	7	バッドの管理状態	38.5	集乳終了後直ちにクーラーの洗浄をする事が洗浄効果を高める大きな要因であることはご承知の事と思いますが、留守の時間がタイミンが運れるので予め、水張りバケットと水洗い用のホースの用意があれば、集乳担当者コックの外しと水洗いをします。
	8	処理室の整理整頓	37.0	バケットミルカーに対する考え方が非常に悪い結果が明らかに出ています。バイオライオンミルカーを使用している家が例えはライナーゴムの状態、或いは
乳牛の衛生	9	室内の通気、換気がよい	22.9	生乳は生乳という商品として大切に扱われるべきです。この事を常に意識し、整理整頓をする、清掃する、明るくするなど衛生感の強化が大切です。
	10	水はけが良、明るく衛生的に管理され、衛生感のある清掃	35.2	生乳は大変匂いに敏感に反応する場合があるので畜舎との遮断、室内の通気、換気に現状の施設でちよとした工夫を行ってみましょう。また、通気の為に室内入口を開放状態のままでは小動物が進入しますので窓に網戸や換気扇、又は開放する場合最低、バルククーラーに白い布を覆うなど食品という意識で気配りをしてください。
	11	処理室は畜舎と遮断が出来る	50.7	集乳終了後直ちにクーラーの洗浄をする事が洗浄効果を高める大きな要因であることはご承知の事と思いますが、留守の時間がタイミンが運れるので予め、水張りバケットと水洗い用のホースの用意があれば、集乳担当者コックの外しと水洗いをします。
	12	室内に小動物が出入りしない	45.7	バケットミルカーに対する考え方が非常に悪い結果が明らかに出ています。バイオライオンミルカーを使用している家が例えはライナーゴムの状態、或いは
処理室	13	バルククーラーの外側は清潔である	46.2	効果的な洗浄方法は生乳という商品として大切に扱われるべきです。この事を常に意識し、整理整頓をする、清掃する、明るくするなど衛生感の強化が大切です。
	14	生乳出荷後の洗浄時期は	68.9	生乳は大変匂いに敏感に反応する場合があるので畜舎との遮断、室内の通気、換気に現状の施設でちよとした工夫を行ってみましょう。また、通気の為に室内入口を開放状態のままでは小動物が進入しますので窓に網戸や換気扇、又は開放する場合最低、バルククーラーに白い布を覆うなど食品という意識で気配りをしてください。
	15	殺菌剤処理をする	82.7	集乳終了後直ちにクーラーの洗浄をする事が洗浄効果を高める大きな要因であることはご承知の事と思いますが、留守の時間がタイミンが運れるので予め、水張りバケットと水洗い用のホースの用意があれば、集乳担当者コックの外しと水洗いをします。
	16	ユニット全体の衛生感	32.0	バケットミルカーに対する考え方が非常に悪い結果が明らかに出ています。バイオライオンミルカーを使用している家が例えはライナーゴムの状態、或いは
その他	17	バケット内部	32.8	生乳は大変匂いに敏感に反応する場合があるので畜舎との遮断、室内の通気、換気に現状の施設でちよとした工夫を行ってみましょう。また、通気の為に室内入口を開放状態のままでは小動物が進入しますので窓に網戸や換気扇、又は開放する場合最低、バルククーラーに白い布を覆うなど食品という意識で気配りをしてください。

区分	No	点 検 項 目	Aの比率	調査結果にもとづく今後の改善内容
バ	18	ミルククロー内外	30.6	ミルククロー内の洗浄状態はバイオグライン側ユニットに比べ格段の管理不良です。又、洗浄不良な状態で行く殺菌剤処理をしたところで何も効果が無いことをはつきりと認識して下さい。
	19	ライナーゴム	38.1	
	20	ミルクチューブ	35.7	
	21	バルセーターチューブ	36.8	
カ	22	殺菌剤処理をする	77.8	バケットで搾った乳は出荷しないから多少器具が汚れていても問題はない。と、そのような感想を受けるのですが大切な事はその様な状態で搾られる牛の事です。
バ	23	全体の衛生感	40.5	バケットミルカーの使用は病気になる牛や初乳期間中の搾乳に使用するなど乳牛にとってデリケートな時期に使用が多いのにライナーゴム等の不良やチューブの老化によるエアリーでバルセーターが不正圧になっている事が多く、乳房炎が治らなかつたり、初乳期間中に乳房炎になってしまいます。
	24	レシーバージャー	53.2	
	25	ジャー内部の配管接続部	53.2	
	26	ジャー以降の配管内	54.4	
ラ	27	バルクへの送乳管又は、ホース	45.1	以上のことからバケットミルカーは大変重要な役目を持っているので通常の搾乳機以上の管理が必要で、最低でも消耗品の交換や洗浄内容は通常のミルカーと同様に管理して下さい。
イ	28	配管接続ゴム類	40.5	
ン	29	ミルクインレット(ライオン側)	29.1	
ミ	30	ミルクイン(ユニット側)	40.1	
ル	31	ミルククロー内外	58.3	通常の搾乳機ではライナーゴムの交換は良く管理されていますがバルセーターチューブがと替わっている状態が多くバルセーターの抽動や圧に悪影響を及ぼしますので消耗頻度によりは交換して下さい。
カ	32	ライナーゴム	65.4	
ー	33	ミルクチューブ	44.4	
ー	34	バルセーターチューブ	43.4	
	35	殺菌剤処理をする	82.6	ミルクインレット(ライオン側)の清掃は機種によって難易度がありますが重要な部分なので定期清掃を行って下さい。
そ	36	スポンジを使用するか	40.3	スポンジは使用するより使用しない方が良いのですが配管勾配の構造上に問題があるので使用する家が多いと思いますが、使用後はしっかりと洗浄をして乾かす。使用する時は乾いている物を使う。
	37	濾過紙管理	81.8	
	38	一頭一布以上	41.5	
	の	39	乳房の毛刈り、毛焼	
他	40	ホストデッビング	72.6	乳房の毛焼は大変簡単な作業ですが是非、乳頭の回りだけでも実施してみてください。
				一頭一布の乳頭洗浄は大変作業を楽にしますし細菌学弄的にも好ましい作業です。実施しましょう。

各研究班によるプロジェクト活動を紹介します

農業クラブでは様々な活動を行っていますが、その中でも『プロジェクト活動』は専門性を高めるための重要な学習活動となっています。本校生徒のプロジェクト活動における意欲は高く、どの研究班も地域課題の解決に向け計画的に取り組んでいます。

1年次に科目「農業と環境」で、生産技術科はカボチャ、食品ビジネス科はジャガイモの栽培を通じてプロジェクトの基礎を学びます。2年次からは各研究班に分かれ、科目「課題研究」で本格的な活動を行います。この科目は、生徒個々の実態に応じ、農業や進路に応じた諸課題を自ら見だし、これまで学んだ農業に関する各科目や自身の経験を基に、課題解決に向けて自発的に創造的及び発展的に取り組む科目です。プロジェクト学習や各分野の専門科目の学習と関連付け、問題解決能力や自己教育力、それらを考察する力を養い、併せて、実践的・体験的な学習を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することをねらいとしています。

各研究班の研究概要と今年度のテーマを紹介します。

《生産技術科》

- 動物活用研究班…J-GAP（家畜・畜産物）の取り組み、持続可能な循環型酪農に関する研究『GAPを継続！酪農改革～さらに安心できる農場づくり～』



動物活用研究班



植物活用研究班A班



植物活用研究班B班

●植物活用研究班A班…自家製EM生ゴミ発酵肥料を用いた環境に優しい花卉栽培に関する研究
『微生物の力で生産性向上！光合成細菌を用いた葉菜類栽培』

●植物活用研究班B班…光合成細菌を活用した野菜栽培に関する研究
『自家製EM生ゴミ発酵肥料を用いた環境に優しい花栽培への挑戦Part2』

《食品ビジネス科》

●肉加工研究班…エゾシカ肉の家庭普及・消費拡大に向けた鹿肉加工品の開発に関する研究
『エゾシカをプロデュース2021 ～SDGsに基づいた`まるとと、活用の推進`～』

●乳加工研究班…牛乳の消費拡大に関する研究
『世界へ羽ばたけメイド・イン・ジャパン ～地域が創る食文化～』

●農産加工研究班…食育活動「なかのうスタイル」、地元産小麦を使用した商品開発に関する研究
『NEOなかのうスタイル ～はじめの一步～』

●マネージメント研究班…幼稚園児から中学生まで一貫した食育活動「計根別食育学校」に関する研究
『開校！【新】計根別食育学校2021 ～こころの種を蒔きましょう。未来で芽吹く食育の芽～』



肉加工研究班



乳加工研究班



農産加工研究班



マネージメント研究班

令和4年 営農計画樹立 面談実施!



12月の一か月間、令和4年の営農計画樹立に向けた面談を実施致しました。
今年1年間の経営実績を考察、どのくらい生産出来るのか、費用は抑えられるのかを検討しながら計画の策定を行いました。
期間中は農協の会議室一室を広く活用し、アクリル板の設置や定期的な換気を行い、今年はそれに加えて衝立を追加し、感染症対策にも十分留意した中で実施致しました。

今月の

シャッターチャンス

“計根別こども館
えみふる”の看板が
設置されました!▶



Aマート計根別店
おすすめ商品!



お正月のおすすめ商品は、
かずの子や真たこ、しまえび、
花咲かになどの海鮮ものです!
近くにきたときは、
ぜひとも寄ってみてください!

北海道コンサドーレ札幌 × ＪＡグループ北海道

道内23か所の児童養護施設に
「北海道米」と「サイン入りＴシャツ」を
贈呈しました！

北海道コンサドーレ札幌とＪＡグループ北海道は、食農教育・社会貢献に係る連携活動の一環として、平成21年から「コンサ・土・農園（コンサドファーム）」をホクレンくるるの杜に開園し、毎年、この農園で収穫した「トムロコシ」と「ジャガイモ」のチャリティー販売を実施しています。



今年度のチャリティー販売では、294,598 円もの協力金が集まり、道内23か所の児童養護施設等に北海道米（ゆめぴりか・ななつぼし・ふっくりんこ・えみまる）と、選手サイン入りツーサイドＴシャツを贈呈いたしました。

また、12月13日には、浦河町の児童養護施設「北海暁星学院」で贈呈式を実施し、(株)コンサドーレ 中嶋取締役 CMO・ドーレくん・ＪＡ北海道中央会職員から直接、理事長・施設長・子供たちに各贈呈品をお渡ししました。

今後も、北海道に根差した地域貢献活動を行ってまいりますので、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



コンサ・土・農園 2021
開園式の動画は
こちらから！



北海道コンサドーレ札幌と
ＪＡグループ北海道の
連携活動については
こちらから！





乾乳期は過密を避けよう

周産期疾病を防ぐためには、乾乳期に十分な飼養スペースが必要です。そのガイドラインと農場事例をご紹介します。

1 過密は採食量を低下させる

乾乳牛にとって飼槽と休息スペースにおける過密は、生理現象以上の食い込み量（採食量）の低下を招きます。

乾乳期に食い込み量が低下すると、大きなストレスがかかり周産期疾病の要因となります。

過密を解消することは、食い込み量を増加させ、周産期疾病のリスクを減少させることにつながります。

2 休息スペースに注意を！

飼養での競合が高まると、食い込み量の低下やいわゆる負け牛が発生し易くなります。負け牛は、飼槽での採食時間が減少するため濃厚飼料の採食量が偏ったり早食いが起きたりします。

飼槽幅は全頭が並べるように、1頭当たり72cm以上確保しましょう。

また、1頭に必要な最低限の休息スペースは表1の通りです。

表1 推奨される乾乳牛の密度

形態	スペースの考え方・目安
フリーバーン	休息スペースとしての広さ
前期	10～12㎡/頭
後期	12～14㎡/頭

（出典：酪農試験場、「乳牛の周産期管理マニュアル」，2019年）

3 事例からみた乾乳期管理のポイント

別海町A牧場の事例を紹介します。

改善前：フリーバーン（10間×6間（194㎡）に乾乳前・後期牛を飼養していました。多い時には、25頭飼養されており、1頭当たりの休息スペースは、約8㎡と過密でした。そのため、食い込み量が低下し、第四胃変位が年間12頭ほど発生していました。

改善後：乾乳前期牛用のフリーバーン（11間×6間の214㎡）を新設しました（12,000千円）。それにより、既



写真1 広く清潔な乾乳舎

存の乾乳舎を乾乳後期牛用とし乾乳前・後期牛を別牛舎で飼養できるようにしました。その結果、過密が解消され食い込み量が増加しました。現在、第四胃変位の発症牛は年間1頭ほどに減少しています。

・休息・飲水スペースの拡大

乾乳前期牛舎の面積は214㎡、飼養頭数15頭で1頭当たりの休息スペースは、14㎡と十分なスペースが確保されています（写真1）。

乾乳後期牛舎の面積は、194㎡、飼養頭数10頭で1頭当たりの休息スペースは、19㎡確保されています。



写真2 清潔な水槽

また、飲水スペースも広く、清潔に保たれているため十分な飲水量が確保できています（写真2）。

・採食量向上

十分な飼槽幅と休息スペースを確保したことにより、採食量が向上しルーメンの膨満度は高くなりました。

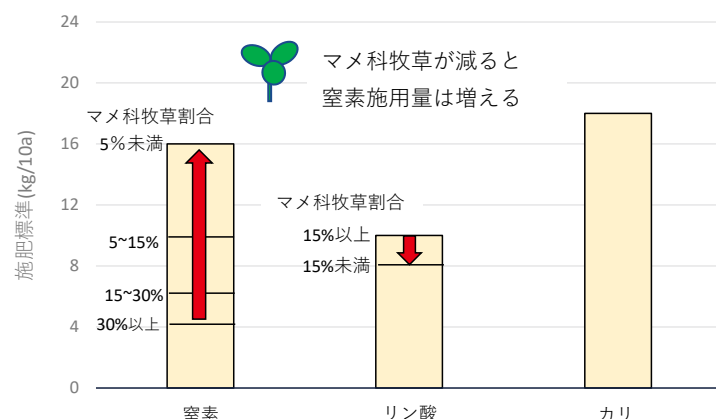
4 最後に

周産期のトラブルが気になる時には、乾乳牛の飼養密度に着目してみてもいかがでしょうか。周産期のことで気になることがありましたら、普及センターにご相談下さい。

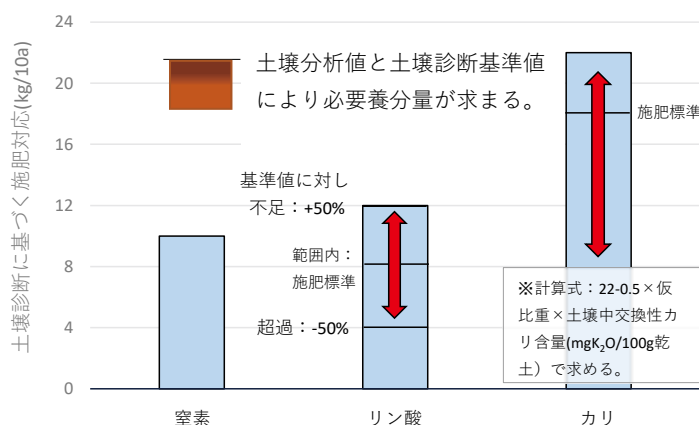
北海道が推奨する乳牛ふん尿の チモシー主体採草地への利用法

酪農試験場
飼料生産技術グループ
研究主幹 有田 敬俊

国における「畜産・酪農における環境負荷軽減の取組の推進」など、これからの時代は環境保全型農業の取り組みが重視されています。その実行には、適切な堆肥等の利用と化学肥料の削減が必要になってきます。ここでは、環境保全型農業を取り組む農業者などの活用を想定する北海道施肥ガイドより、道東地域の火山性土におけるチモシー主体採草地(維持管理時)を例に、乳牛ふん尿と化学肥料の施肥設計の手順とポイントを紹介します。

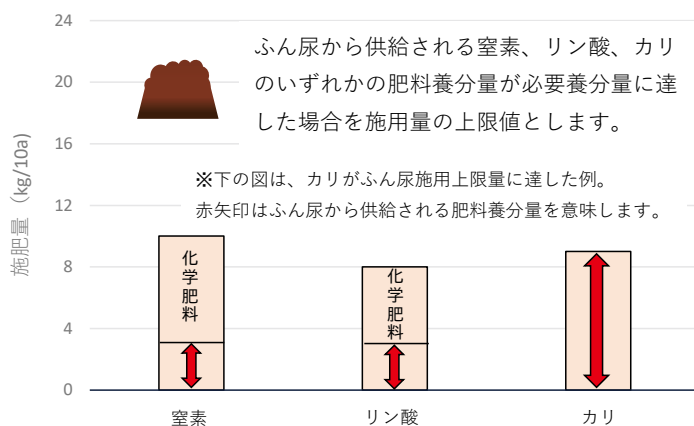


はじめに、マメ科牧草割合から、基準となる施肥量(施肥標準)を北海道施肥ガイドから調べます(<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/shs/clean/sehiguide2015.html>)。



次に、土壌分析値と施肥標準から、土壌診断に基づく施肥量(必要養分量)がわかります。

※土壌の採取: ルートマットの有無にかかわらず、草地表面から深さ5cmまでの層を対象とします。秋の最終利用後、有機物施用前(有機物を施用しない場合は早春施肥前も可)に行います。



さいごに、ふん尿の養分含量などから、草地に供給される窒素、リン酸、カリの肥料養分量を求めます。

ふん尿からの肥料養分量と化学肥料養分量の合計が必要養分量となるように施肥計画を立てます。

このように、マメ科牧草割合(窒素の施肥標準を大きく変える)、土壌分析値(リン、カリのより正確な必要養分量がわかる)、ふん尿から供給される肥料養分量(必要養分量を超えない計画立案)を知ることが、ポイントとなります。

生乳販売情報

令和3年度11月末 管内農協生乳受託実績表

(kg)

農協名	月 計		累 計		搾乳戸数
	乳 量	前年比	乳 量	前年比	
J A 標 津 町	9,167,364	106.7	74,600,956	104.8	123
J A 中 標 津 町	12,521,741	110.9	101,555,736	107.2	163
J A け ね べ つ	7,697,523	106.2	63,204,671	104.4	125
J A 中 春 別	10,537,680	106.1	87,211,410	102.4	165
道東あさひ	西 春 別 支 所	7,571,086	105.4	63,097,000	104.2
	上 春 別 支 所	5,763,747	105.3	47,644,964	104.4
	別 海 本 所	12,833,274	105.8	107,504,172	103.7
	根 室 支 所	4,332,024	105.7	35,698,143	101.8
	小 計	30,500,131	105.6	253,944,279	103.7
合 計	70,424,439	106.8	580,517,052	104.3	1,059

市場情報

ホクレン根室家畜市場 一般市場 12月8日開催分

税込み

ホクレン十勝地区家畜市場(音更町)

肉牛(和牛)市場 12月7日開催分

税込み

畜 種	出場	成立	最 高	最 低	平 均	先月との差
乳牛・ホル 育成	41	38	342,100	18,700	170,182	-220,511
乳牛・ホル 初妊	26	23	514,800	214,500	370,509	-295,203
乳牛・ホル 経産	13	12	289,300	56,100	174,900	-140,460
乳牛・ホル・無経産	0	0	0	0	0	0
肉素・黒毛和種・メス	2	2	339,900	331,100	335,500	-65,720
肉素・黒毛和種・オス	0	0	0	0	0	-33,156
肉素・黒毛和種・去	0	0	0	0	0	0
肉素・乳用交雑・メス	2	2	209,000	100,100	154,550	154,550
肉素・乳用交雑・オス	0	0	0	0	0	0
肉素・ホル中犢・メス	2	1	27,500	27,500	27,500	-113,260
肉素・ホル中犢・オス	1	1	79,200	79,200	79,200	39,888
肉素・ホル中犢・去	0	0	0	0	0	-109,080
肉素・ホル・メス	16	15	310,200	110,000	215,013	21,153
肉素・ホル・オス	0	0	0	0	0	0
肉素・その他・メス	0	0	0	0	0	0
肉素・その他・去	0	0	0	0	0	0
初生・黒毛和種・メス	16	16	473,000	210,100	359,906	-94,376
初生・黒毛和種・オス	38	38	589,600	195,800	447,526	-117,202
初生・乳用交雑・メス	132	131	260,700	8,800	110,101	-92,717
初生・乳用交雑・オス	132	131	269,500	23,100	163,144	-143,821
初生・ホル・オス	142	141	176,000	110	75,004	-30,313
初生・ホル乳用・メス	56	56	174,900	2,200	89,945	-221,340
初生・異性双児・メス	11	11	62,700	3,300	34,100	-14,991
初生・その他・メス	0	0	0	0	0	0
初生・その他・オス	1	1	3,300	3,300	3,300	-56,100
廃用黒毛和種	0	0	0	0	0	-295,380
廃用・乳用交雑	0	0	0	0	0	-306,720
廃用・ホル	241	241	294,800	8,800	116,468	-95,578
廃用・その他	0	0	0	0	0	-96,120

畜 種	出場	成立	最 高	最 低	平 均	先月との差
肉素・黒毛 メス	300	297	958,100	344,300	689,100	-11,265
肉素・黒毛 メス ET	161	157	873,400	550,000	741,148	-36,181
肉素・黒毛 メス計	461	454	958,100	344,300	707,099	-21,451
肉素・黒毛 オス						
肉素・黒毛 去勢	398	391	1,093,400	129,800	807,057	-4,268
肉素・黒毛 去勢 ET	219	214	1,115,400	254,100	878,684	9,949
肉素・黒毛 去勢計	617	605	1,115,400	129,800	832,393	389
肉素・短角種 去	0	0	0	0	0	-412,560
肉素・肉専用種 去	0	0	0	0	0	-438,900
繁殖・黒毛	38	38	1,613,700	305,800	795,647	83,404
繁殖・乳用交雑	4	4	854,700	801,900	832,150	76,217
廃用・黒毛	84	83	816,200	124,300	366,048	32,773

計根別農協乳牛頭数・肉用牛頭数

12月1日現在

乳 用 種 (区分)	頭 数	先月との差
未 経 産 12 ヶ 月 未 満	3,865	-107
未 経 産 12 ヶ 月 以 上	4,260	58
そ の 他 の 未 経 産	128	1
計	8,253	-48
経 産 牛 (ホ ル)	9,924	-93
そ の 他 の 経 産 牛	54	-1
計	9,978	-94
合 計	18,231	-142

ホクレン根室家畜市場 乳牛市場(セール) 12月13日開催分 税込み

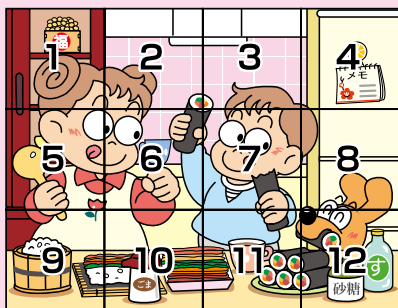
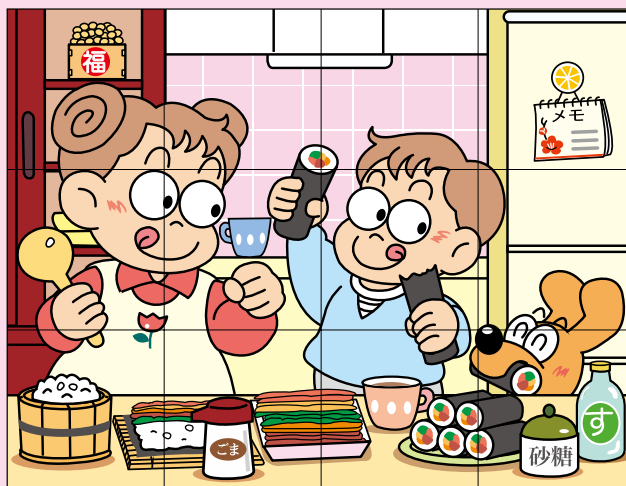
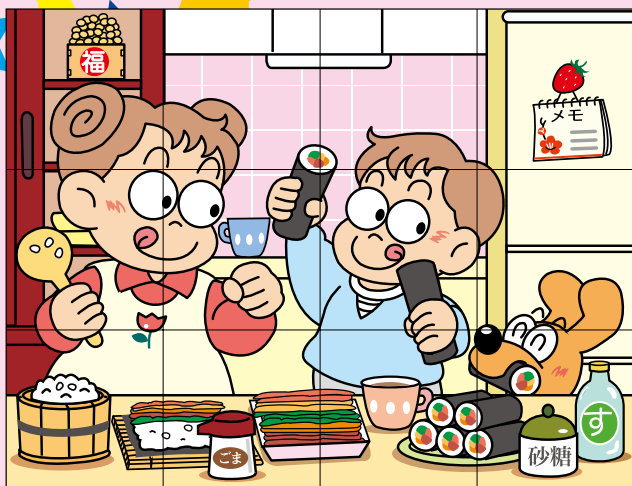
畜 種	出場	成立	最 高	最 低	平 均	先月との差
乳牛・ホル 初妊	593	525	825,000	315,700	565,172	-199,465
乳牛・ホル初妊ET	56	50	1,322,200	376,200	827,904	-64,877
乳牛・ホ無 初妊	5	5	655,600	423,500	521,180	-220,240
乳牛・ホ無 初妊ET	1	0	0	0	0	0
乳牛・ホル 経産牛	0	0	0	0	0	0
その他の乳用種	0	0	0	0	0	0
合 計	655	580	1,322,200	315,700	587,442	-190,164

計根別農協(ホクチクファーム) 初生トク *0単価 12月21日現在 1,900円/kg

肉 用 種 (区分)	頭 数	先月との差
黒 毛 和 種 メ ス	595	-11
黒 毛 和 種 オ ス	103	-4
計	698	-15
合 計	698	-15
総 合 計	18,929	-157

まちがいさがし

右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探しましょう。



●正解者5名の方にすてきなプレゼントをさしあげます。なお、正解者多数の場合は抽選とさせていただきます。

《応募方法》左下の点線の部分を事務所入り口に設置している投書箱へ。または、営農企画係までFAX(78-2048)をお願いします。

《締め切り》2022年1月25日まで
当選者の発表は「けねべつ」2022年2月号誌上

まちがいさがし12月号の答え

1 3 7 10 12

抽選の結果右記の方が当選いたしました。
プレゼントを営農企画係でお受け取り下さい。

小島 敏子さん
岡崎 成子さん
近藤 亜希さん
室井 勝則さん
根岸 榮子さん

きりと線

まちがいさがし 1月号の答え

--	--	--	--	--

住 所

氏 名

T E L

「つばやくべえ」へ投稿する

きりと線



◆クリスマス

クリスマスですね～
ちびっこはいないけどツリー飾って楽しみます。
(ペンネーム かぼちゃん)

◆元旦

元旦やありがたくもありありがたくもなし
(ペンネーム モーモ2さん)

◆牛がいっぱい！

牛がいっぱい来てかわいかったです！
(ペンネーム ももさん)

◆来年こそは良い年に…

早いものでもう今年も終わりですね。
コロナに明け暮れた大変な年でした。来年は良い年でありますように…
(ペンネーム なかよしさん)

◆にんじんケーキ

にんじんケーキを食べました。にんじんの味がしませんでした。
(ペンネーム 西竹☆兄妹さん)

「つばやくべえ」では皆さんのつばやくやシャッターチャンスなどを募集しています！営農企画係までメールするか事務所玄関の投書箱への投稿お待ちしております！
einoukikaku@kenebetsu.ja-hokkaido.gr.jp

※ページの都合により「今月の義を見てせざるは勇無きなり」は休載とさせていただきます。

この写真を見て一句！



先月のお題は
「年の暮れの一番星」でした！

未来への 夢語る子に 星の笑み

(小田 慶喜さんの作品)

初夢の 準備に余念 無き夜空

(小田 和子さんの作品)

古希すぎて 迎える新年 決意新た

(ばあちさんの作品)

仰ぎ見る 一番星よ 西の空

(なかよしさんの作品)

例 文

一年の 幸せ願う 鏡餅

(海侠のジンベエさんの作品)



お正月はなにをして過ごしますか？家族とともに、おせちを食べたり、お年玉のやりとりをしたり、年賀状を読んだり…そんな「お正月」を感じる素敵な作品をお待ちしています。

(1月25日締切) 営農部までFAXまたはつぶやくべで。

また、お題の写真も募集しております。素敵な写真がありましたら、是非ご提供してください。

